

第3回県立今治病院老朽化対策基本計画策定委員会における委員の主な意見

【県立今治病院老朽化対策基本計画案全体に関すること】

- 特に修正意見はなく、賛成である。

【機能連携に関すること】

- 今後、人口は減少するものの、20年程度は今治圏域の医療需要は大きく減らないため、妥当な計画だと考える。ただし、医師確保の観点からも、病院間の領域ごとの棲み分けや連携強化が非常に重要になってくることを考慮する必要がある。

【移転候補地に関すること】

- 県立今治病院の早期整備の要望を実施する前に、旧市内の市有地について調査を行ったが、アクセスが良好で、病院として十分な面積を有する移転候補地として、しまなみの杜1-2が最適であった。
- 高速道路からのアクセスの観点からも、移転候補地（しまなみの杜1-2）は良い立地条件だと考える。
- 移転候補地（しまなみの杜1-2）に加え、アクセスする道路についても、現病院より災害リスクは低いと考えられ、災害拠点病院としての立地条件に適している。